

# 目次

## 総括研究報告書

- ゲノムデータの持つ個人識別性に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
研究代表者 吉倉 廣 国立感染症研究所

## 分担研究報告書

1. 個人識別性について：法科学からの視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7  
分担研究者 大澤 資樹 東海大学医学部基盤診療学系法医学
2. ゲノムデータの個人識別符号の範囲と本研究班における検討範囲であるところの  
ゲノムデータの一意性についての報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
分担研究者 荻島 創一 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
3. 個人識別性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
分担研究者 鎌谷 洋一郎 国立研究開発法人 理化学研究所  
統合生命医科学研究センター 統計解析研究チーム
4. がん研究におけるゲノムデータの個人識別性について・・・・・・・・・・・・ 20  
分担研究者 後澤 乃扶子 国立研究開発法人国立がん研究センター  
研究支援センター
5. 欧米におけるゲノムデータの利用にかかる法制度 - 欧州データ保護指令/規則  
および米国 HIPAA プライヴァシー規則の匿名化ルールを中心に - ・・・・・・・・ 23  
分担研究者 佐藤 智晶 青山学院大学法学部
6. ゲノムデータの持つ個人識別性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26  
分担研究者 竹内 史比古 国立国際医療研究センター・研究所
7. 個人特定性とゲノムデータ・遺伝的識別性の関係について・・・・・・・・・・ 28  
分担研究者 徳永 勝士 東京大学大学院医学系研究科・人類遺伝学
8. ゲノムデータの持つ個人識別性に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30  
分担研究者 俣野 哲朗 国立感染症研究所エイズ研究センター

9. ゲノムデータの持つ個人識別性・・・・・・・・・・・・・・・・・・31  
研究代表者 吉倉 廣 国立感染症研究所

10. 補足説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34  
研究代表者 吉倉 廣 研究分担者 竹内 史比古

**【報告書の構成】**

総括研究報告書は、原案を分担研究者全員が検討し修文の上合意されたものである。ヒトゲノムに関する、人類遺伝学的、法医学的、疫学的、がんその他疾病の予防治療的側面につき、多様な現場での対応を反映させようとしたため、班員全ての意見の細部を総括研究報告書に盛り込む事は難しかった。

なお、最後の補足説明は、個人情報保護委員会事務局から解析方法・データ保存・個人識別の基準各項目につき質問があったので、吉倉・竹内がこれに応じ、作成したものである。